

平成28年度事業報告書

平成28年1月1日から平成28年12月31日まで

特定非営利活動法人 日本の森バイオマスネットワーク



事業期間

平成28年（2016年）1月1日～平成28年（2016年）12月31日まで

事業内容

事業概要

森と暮らすライフスタイルを広め、荒廃した森林の再生を目的としている。また、森林資源を活用した産業と雇用の創出を目指した啓発活動を行なっている。

今年度は今後の当会の在り方について検討する年となった。会員については昨年度比で現状維持となった。

活動内容は、各支部の活動が主となった。

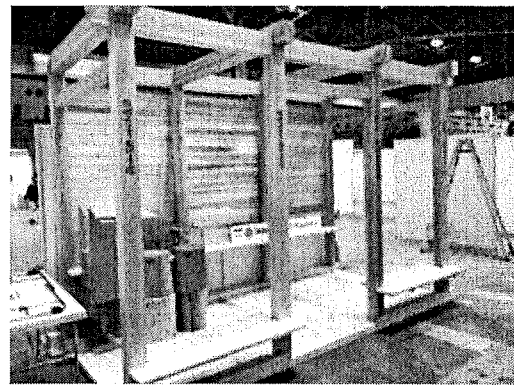
広報活動として、ふんわりの発行。モンベルクラブフレンドフェア、アースデイ、エコプロダクツ展などへの出展を予定通り実施し、普及啓発活動を行った。



モンベルクラブフレンドフェア
(4月、6月、9月)



アースデイいのちの森 出展



エコプロダクツ展

2. 森林をテーマとした環境教育の推進

〈目的〉

多彩なプログラムにより、森林資源活用の裾野を広げる事を目的とする。

質の広がりとして、森林や自然環境への関心が高い人には、環境や空間としての森林のみならず、建築材、家具材、木工、木質バイオマスエネルギーなど、木材の部位や品質によって用途の使い分けがあることを紹介し、森林資源を大切に有効利用について気付いてもらう。

関心が薄い人にも、森林やその資源の有効活用について触れることで、森林や木でできた家や家具、木質エネルギーなどへ近づくきっかけとし、多くの方に参加していただく。

地元の工務店と協働し、バイオマスや自伐林業だけではなく、個人が生活に取り入れることが可能な提案や講座を開催し、森を考えるライフスタイルを提案していく。

2-1. 森林体験活動の実施協力 -里でのイベント開催-

(1)【宮城支部】「薪割りワークショップ」

ねらい：本物の木を扱うことで、木そのものと木を活用した生活の魅力を広める。

波及してその木が生える森へ足を運びたい人を増やす。

概要：開催場所に隣接する雑木林の整備を行い、薪割り体験教室を開いた。

また、NPO 法人しんりんの協力で伝統的な搬出である馬での搬出の実演やその働く馬との触れ合いを行ったり、ペレットボイラーにて足湯を提供したりもした。

日時：8月6日7日、11月23日、1月8日

場所：宮城県（サスティナライフ森の家「森の木の家」）

延参加者数：72名

成果：木がどのように私たちの手に届くのか知って感動したという声、木は捨てる所なく隅々まで使われていること、木を燃料にした火の暖かさの魅力、木を使うことで水や空気の恩恵を得られることを実感した、などという声を多くいただいた。これをきっかけに、参加者それぞれが森との暮らしや木質燃料のある暮らしに関心を深めて帰ってもらえた。

主催：株式会社サスティナライフ森の家

概要：宮城県大崎市で行われるアースデイみやぎ大崎に出展。

成果：地域で人や環境のつながりを考慮した出展やワークショップが行われる中、出展者、参加者共に同志としての横のつながりを広げられた他、実際に木を割って使うという実践をイベント内で提供できたことは、森や木のみならず自然や第一次産業への関心を深めてもらう大事な役割だったと主催者からもコメントをいただいた。

主催：NPO 法人おおさきエネルギーカウンスル



←アースデイみやぎ大崎

(3)【北海道支部】「オーガニックカレッジ 2017」

ねらい：北海道でエコビレッジを実現するためのスキルアップと、住まい手を育てる。環境と人の健康を考えた家を建てるだけでなく、暮らしを様々な視点から見つめ直す時間となるよう、五感で命のつながりを感じる機会にする。

概要：環境や健康を考えた食や住について、様々なトークイベントを展開し、実際に味わってもらう。

日時：3月5日

場所：北海道（北海道クリスチャンセンター）

主催：エコビレッジ実行委員会

共催：日本の森バイオマスネットワーク

後援：札幌市



日時 2016年3月5日(土)
開場/9:30～ 開演/10:00～15:00

場所 北海道クリスチャンセンター 2F 大ホール
札幌市中央区北7条西6丁目

参加費 おとな・一般→¥2,000 大学生→¥1,500
高校生以下→無料

定員 60名(予約制)
先着順で定員に達した場合はキャンセルとなります。

主催：エコビレッジ実行委員会 | 共催：日本の森バイオマスネットワーク
後援：札幌市

オーガニックカレッジ（2016開催チラシ）

2-2. 森林体験活動の実施協力 -山でのイベント開催-

〈目的〉

林業は、自分たちの世代では結果の出にくい産業である。その為、次の世代でもある子供たちも含めた方々への森林環境教育を行い、森林や林業への関心を深める。

〈事業概要〉

森林や林業に触れ、体験することで、森林や林業から森林の生態系を学び、また森林や林業の場を通して人と人との協働や人と自然との協働について学び成長する場・機会を提供する。

・【宮城支部】森でまなぶ

日時：1回目 5月20～22日の3日間

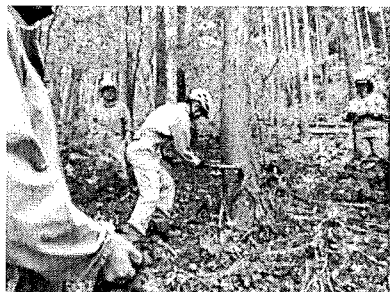
2回目 10月28～30日の3日間

場所：宮城県（エコラの森）

成果：5月の開催では、森林や林業の現場について、たくさんの気づきと驚きを喚起し、参加者同士チームで解決することでより深い学びにつながったようで、実際中学生たちの学びの場として積極的に検討していただけそうである。私たち林業現場側の人間にとっても林業に携わらない人たちにとっては新鮮な気づきがたくさんあり、木こりという仕事の存在、山の現場、木材の値段、木の育ち方や倒し方など、今後の森林にまつわる資源の有効活用と森づくりの啓発・普及活動を行っていくにあたり、大きな収穫となった。

10月の開催は、参加希望人数が少なくキャンセルとなったが、今後どのように集客をするか、議論を深めることができた。

協働：株式会社日能研・NPO 法人しんりん



林業体験学習風景



木工体験学習風景



皮むき作業



伐採作業後の集合写真



講演会

2-3. 森林体験活動の実施協力 -山で活動するための支援-

・【各支部】チェーンソー講習・刈払機講習（きこり講座）

〈目的〉

自伐林業家の育成の一環。小規模の森林を所有し、自ら森林の管理を行おうとしている人に欠かせないチェーンソーなど機材取扱いの資格取得講座を行う。

〈事業概要〉

資格取得にはそれぞれ決められた法定時間の講習を受ける必要がある。一般的な講習に比べ、受講者数を少なくアットホームでそれぞれに目の行き届く講習が可能ため、手取り足とりの実技も含め受講者に合わせた実施ができた。また、今年にはチェーンソー講習以外に下草刈りに必要な刈払機の資格取得講習も開催した。また、今回は仕事としてチェーンソーなどを扱う人から講習の問い合わせも多いことを受け、平日に開催し、さらに林業には最低限欠かせない機械であるチェーンソーと刈払機を3日間連続で講習を受けられるようにした。

結果、地元住民で山の整備をこれから手をつけたいという人など、幅広い人材の育成につながった。

・【宮城支部】チェーンソー取扱技能特別教育

日時：6月27～28日の2日間

場所：宮城県（エコラの森）

参加者数：9名



・【宮城支部】仙台湾セブンの森の育林活動

日時：6月11日

場所：宮城県（名取市仙台湾沿岸地区海岸防災林）

参加者数：82名

内容：東日本大震災で被災した海岸防災林再生の為に植林地の下草刈り（植林した苗以外の草木を刈り取る）を行い、苗が陽光や養分を摂りやすい環境を整備することで、林を育ちやすくする。

森林を育てるためには植林のみならずこの下草刈りが大変重要であり、継続的な活動を林業に縁遠い社員様や一般の方が行うことで、本質的な海岸林の復旧活動に貢献する。

成果：1haの昨年クロマツを植林した森の雑草を刈った。ツル性の雑草がはびこっていたり、土手が見えないほど草が繁茂したりしていたが、社員さまたちが黙々と刈ることで、クロマツの苗木が見えるようになった。苗木の植栽のみならず、その育林に携わることで森づくりや木への思いが強くなり、地域をまもる海岸林を育てる大切さも再認識していただけたのではないだろうか。

主催：NPO 法人しんりん

・【宮城支部】宮城セブンの森の竹林整備と植林活動

日時：3回（4月23・24日、9月3・4日、11月12・13日）

場所：宮城県（大崎市鳴子温泉 宮城セブンの森）

受入人数：1回目15名、2回目141名、3回目11名

内容：宮城セブンの森は、20年以上前に盗伐された森である。その一部に竹林が侵食しており、植林を行えない状況であった。

その場所の植林のために竹林整備を行い、スギとヤマザクラを植林した。

成果：道に面した場所に竹がはびこっていた場所は、今年度精力的に参加いただいたおかげで竹林がなくなり、地域の方々からも喜ばれている。竹林整備にいらっしゃる方々は、きつい労働にもかかわらず愛着を持ってご参加くださっている。今後ものはげ山の部分を森に還して行けるように続けていきたい。課題として、伐採、搬出、チップ化の処理の3グループで作業を行っているが、急斜面での竹林伐倒作業となることや、チップ化の速度が追いつかないことから、現在レンタルしているチップパー機を地元で導入し、加速化していきたい。

主催：日本の森バイオマスネットワーク、NPO 法人しんりん

(2) 【宮城支部】「NTT グループ様の受け入れ」として

- ・【宮城支部】津波被災林の再生植林活動

日時：10月22日

場所：宮城県（東松島市海岸防災林）

参加者数：133名

内容：東日本大震災で被災した海岸防災林再生の為に植林を行った。

企業の社員とその家族、OB・OGなどを中心に1haに抵抗性クロマツを5,000本植林した。

主催：NPO 法人しんりん



植林風景

- ・【宮城支部】震災による津波・山火事被災林の再生活動

日時：2回開催（7月2・3日、10月7・8日）

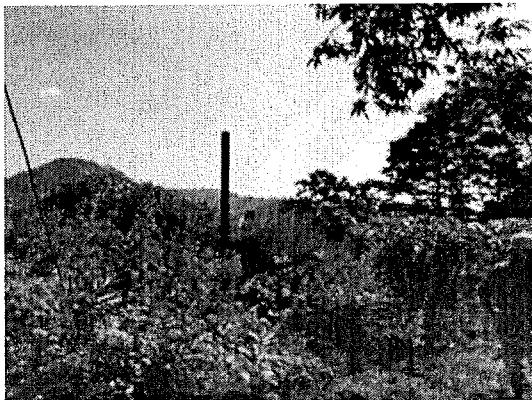
場所：宮城県（気仙沼市大島）

内容：東日本大震災で地震、津波、山火事と甚大な被害を受け、壊滅した宮城県気仙沼市大島の山火事になった箇所への植林を2013年に行った。その後の育成の為に下草刈りを行った。

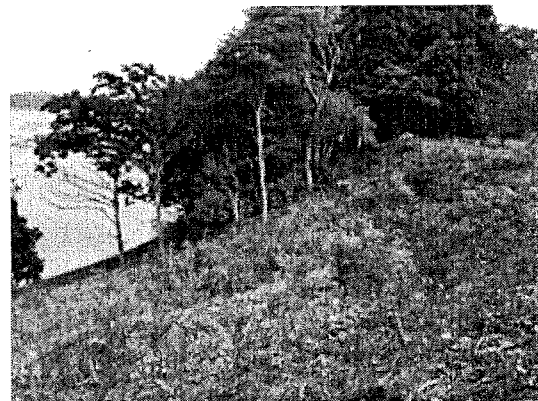
成果：今年で植栽5年目になる苗は人の背丈を越すほど生長し、下草も人の背丈ほどになり手刈りは大変なように思えたが、黙々と作業する参加者の熱意もあり、大きくなった苗がすっかり見えるようになり、参加者も島の方もその成長と活動に感動していた。

参加者数：1回目43名、2回目9名


主催：日本の森バイオマスネットワーク



下草刈り前



下草刈り後

<p>Vol.21 (12月発行)</p>	<p>宮城版 首都圏版</p>	
---------------------------	---------------------	--

活 動 計 算 書

平成28年1月1日から平成28年12月31日まで

特定非営利活動法人 日本の森バイオマスネットワーク

(単位：円)

科 目	金 額		
I 経常収益			
1 受取会費 受取会費	137,000	137,000	
2 受取寄付金 受取活動支援金	112,312	112,312	
3 受取助成金等			
(1) 受取民間助成金	3,200,000		
(2) 受取国庫補助金等	0	3,200,000	
4 事業収入			
(1) 復興における木質バイオマス利用の 普及啓発事業収益	303,791		
(2) 木工品等の販売事業収益	1,722,722		
(3) 森林をテーマとした環境教育の推 進事業収益	5,962,670	7,989,183	
5 その他収益			
(1) 受取利息	21		
(2) 雑収益	0	21	
経 常 収 益 計			11,438,516
II 経常費用			
1 事業費			
(1) 人件費			
人件費計	0		
(2) その他経費			
売上原価	2,241,637		
業務委託費	6,836,866		
イベント費	30,000		
その他経費計	9,108,503		
事 業 費 計		9,108,503	
2 管理費			
(1) 人件費			
給料・雑給	2,460,000		
法定福利費	264,893		
福利厚生費	8,208		
人件費計	2,733,101		

(2) その他経費			
消耗品費	1,229		
修繕費	37,584		
租税公課	170,400		
旅費交通費	380,634		
通信費	237,220		
支払手数料	64,476		
荷造運賃	864		
新聞図書費	3,780		
諸会費	4,500		
会議費	36,820		
事務委託費	760,000		
その他経費計	1,697,507		
管理費計		4,430,608	
経常費用計			13,539,111
当期経常増減額			△ 2,100,595
III 経常外収益			
経常外収益計			0
IV 経常外費用			
経常外費用計			0
税引前当期正味財産増減額			△ 2,100,595
法人税、住民税及び事業税			0
当期正味財産増減額			△ 2,100,595
前期繰越正味財産額			△ 1,096,526
次期繰越正味財産額			△ 3,197,121

貸借対照表

平成28年12月31日現在

特定非営利活動法人 日本の森バイオマスネットワーク

(単位：円)

科 目	金 額		
I 資産の部			
1 流動資産			
現金・預金	336,579		
売掛金	1,750,151		
仮払金	50,000		
流動資産合計		2,136,730	
2 固定資産			
(1)有形固定資産			
有形固定資産計	0		
(2)投資その他の資産			
投資その他の資産計	0		
固定資産合計		0	
資産合計			2,136,730
II 負債の部			
1 流動負債			
買掛金	1,874,797		
短期借入金	3,042,521		
未払消費税等	95,400		
預り金	321,133		
流動負債合計		5,333,851	
2 固定負債			
固定負債合計		0	
負債合計			5,333,851
III 正味財産の部			
前期繰越正味財産		△ 1,096,526	
当期正味財産増減額		△ 2,100,595	
正味財産合計			△ 3,197,121
負債及び正味財産合計			2,136,730

計算書類の注記

1. 重要な会計方針

計算書類の作成は、NPO法人会計基準（2011年11月20日 NPO法人会計基準協議会）によっています。

(1) 消費税等の会計処理

消費税等の会計処理は、税込方式によっています。

2. 事業別事業費の内訳

(単位:円)

科 目	復興における木質バイオマス利用の普及啓発事業	木工品等の販売事業	森林をテーマとした環境教育の推進事業	事業部門計
経常費用				
(1) 人件費				
給料・雑給	0	0	0	0
人件費計	0	0	0	0
(2) その他の経費				
売上原価	327,654	1,912,723	1,260	2,241,637
業務委託費	0	132,840	6,704,026	6,836,866
イベント費	0	0	30,000	30,000
その他の経費計	327,654	2,045,563	6,735,286	9,108,503
経常費用計	327,654	2,045,563	6,735,286	9,108,503

3. 借入金の増減内訳

(単位:円)

科 目	期首残高	当期借入	当期返済	期末残高
短期借入金				
(株)サステイナブル森の家	0	1,680,000	0	1,680,000
NPO法人しんりん	0	1,362,521	0	1,362,521
合 計	0	3,042,521	0	3,042,521

財 産 目 録

平成28年12月31日現在

特定非営利活動法人 日本の森バイオマスネットワーク

(単位：円)

科 目	金 額		
I 資産の部			
1 流動資産			
現金預金			
現金 現金手許有高	566		
普通預金 七十七銀行築館支店	329,842		
普通貯金 ゆうちよ銀行	6,171		
売掛金 (株)ウエスタ ほか	1,750,151		
仮払金 経費仮払	50,000		
流動資産合計		2,136,730	
2 固定資産			
(1)有形固定資産			
有形固定資産計	0		
(2)投資その他の資産			
投資その他の資産計	0		
固定資産合計		0	
資産合計			2,136,730
II 負債の部			
1 流動負債			
買掛金 (株)サステイナブル森の家	1,874,797		
短期借入金 (株)サステイナブル森の家	1,680,000		
短期借入金 NPO法人しんりん	1,362,521		
未払消費税等 佐沼税務署	95,400		
預り金			
源泉所得税	22,374		
旅行預り金	285,000		
その他	13,759		
流動負債合計		5,333,851	
2 固定負債			
固定負債合計		0	
負債合計			5,333,851
正味財産			△ 3,197,121